

掛物 婦人画

御筆硯一掛物一婦人画

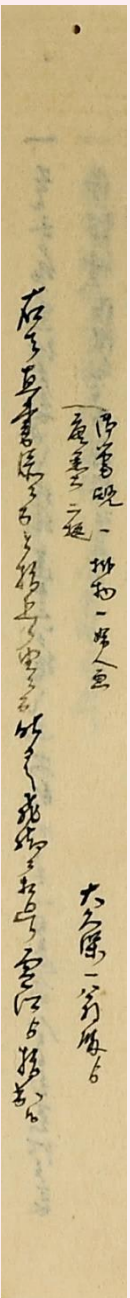
唐墨二挺

大久保一翁殿る

右者直書添二而被指上候由二而

昨日之飛脚二相廻り雪江る指出候

(大久保一翁殿 元幕府勘定奉行大久保忠寛。唐墨 とうぼく、中国製の墨。雪江 福井藩御側御用人中根鞆負)



慶応元年（1864）4月13日／於福井／元幕府勘定奉行大久保忠寛 前福井藩主松平春嶽
「御側向頭取御用日記（10）」松平文庫（福井県立図書館保管）



筆者不詳「靈照女図 紙本着色 明代」
福井市春嶽公記念文庫（福井市立郷土歴史博物館蔵）

御野先御用御多葉粉盆 御煙管付箱入

一今日於御同所左之通御拝領被遊候 ○御献上物有之候

鯉二喉 鯉一尾 岡持入

御上下地一卷 御野先御用御多葉粉盆御煙管付箱入
鴨一 但御池二而中将様御羽合

御煮染一 御焼肴一重 御生菓子一重

望遠鏡 一箱

ぼら四 ○御献上

柿 十籠 数二千也

(御同所〓江戸城。鯉〓鱸、スズキ。中将様〓前福井藩主松平春嶽。羽合〓鷹狩で拳にのせた鷹を投げるようにして勢いよく飛び立たせる技)

一今日於御同所左之通御拝領被遊候 ○御献上物有之候
鯉二喉 鯉一尾 岡持入
御上下地一卷 御野先御用御多葉粉盆御煙管付箱入
鴨一 但御池二而中将様御羽合
御煮染一 御焼肴一重 御生菓子一重
望遠鏡 一箱
ぼら四 ○御献上
柿 十籠 数二千也

文久2年(1862)9月3日/於江戸/將軍徳川家茂↓前福井藩主松平春嶽

「御側向頭取御用日記(5)」松平文庫(福井県立図書館保管)



「黒蠟色塗携帯用煙草盆」

福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)

御印籠

一田安御殿五時御供揃二而田安御人二而
 平川口へ御登城被遊於大奥公方様御始
 御目見被仰上品々御拝領物被遊候
 夫へ御手人二而平川口御下り被遊候事
 (田安御殿へ御三卿田安家屋敷、江戸城北の丸田安門内。平川口へ江戸城三の丸平川門)

一田安御殿五時御供揃二而田安御人二而
 平川口へ御登城被遊於大奥公方様御始
 御目見被仰上品々御拝領物被遊候
 夫へ御手人二而平川口御下り被遊候事
 (田安御殿へ御三卿田安家屋敷、江戸城北の丸田安門内。平川口へ江戸城三の丸平川門)

(大御所様へ御手自)
 同 御印籠
 (略)
 御下ヶ被為入候を御直二御拝領

(大御所様へ御手自) 御印籠
 (大御所様へ御手自) 御印籠
 (大御所様へ御手自) 御印籠

天保9年(1838)11月23日/於江戸/前將軍徳川家齊↓福井藩主松平春嶽
 「少傳日録抄(慶永付側向頭取日記、在府)」松平文庫(福井県立図書館保管)



い一齋久孝作「金沃懸地松鶴鹿図蒔絵印籠」
 福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)

天賜 御狩衣

但御側向

一天賜 御狩衣今朝五半時前到着二付御手續左之通

御頂戴済迄上下
着用御伽ハ御用捨

(五半時＝午前9時頃)

一天賜 御狩衣今朝五半時前到着二付御手續左之通 但御側向 御頂戴済迄上下 着用御伽ハ御用捨

慶応2年(1866)2月9日/於福井/孝明天皇↓前福井藩主松平春嶽

「御側向頭取御用日記(12)」松平文庫(福井県立図書館保管)



「天賜 御狩衣」福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)

西洋製造御鞍

一今日御登

營之節左之通御拝領被遊奉恐悦候

西洋製造御鞍

御時辰

(御時辰〓時計)

一今日御登 營之節左之通御拝領被遊奉恐悦候
西洋製造御鞍
御時辰

慶応3年(1867) 8月4日/於京都/將軍徳川慶喜↓前福井藩主松平春嶽

「御側向頭取御用日記(14)」松平文庫(福井県立図書館保管)



「洋式軍装馬具」 福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)

御持古御下緒

堀川新三位殿江御直書御指御脇差出ス

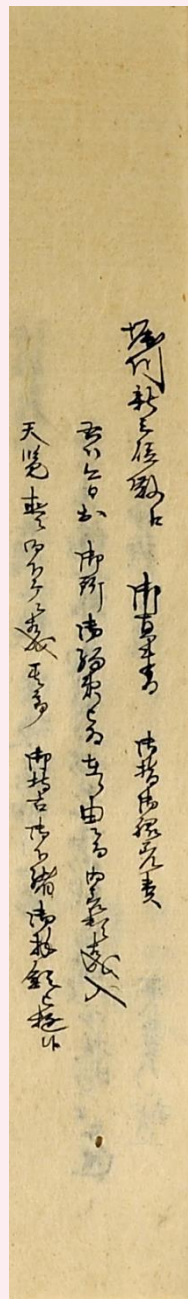
右ハ今日於御所御約束

被為在候由二而御差出二相成入

天覽直二御下ケ二相成其節

御持古御下緒御拝領被遊候

(堀川新三位殿ハ公家堀河親賀(岩倉具視の兄)力。
持古ハ持ち古す、使い古す。)



慶応4年(1868)6月9日/於京都/孝明天皇↓議定松平春嶽
「御側向頭取御用日記(16)」松平文庫(福井県立図書館保管)



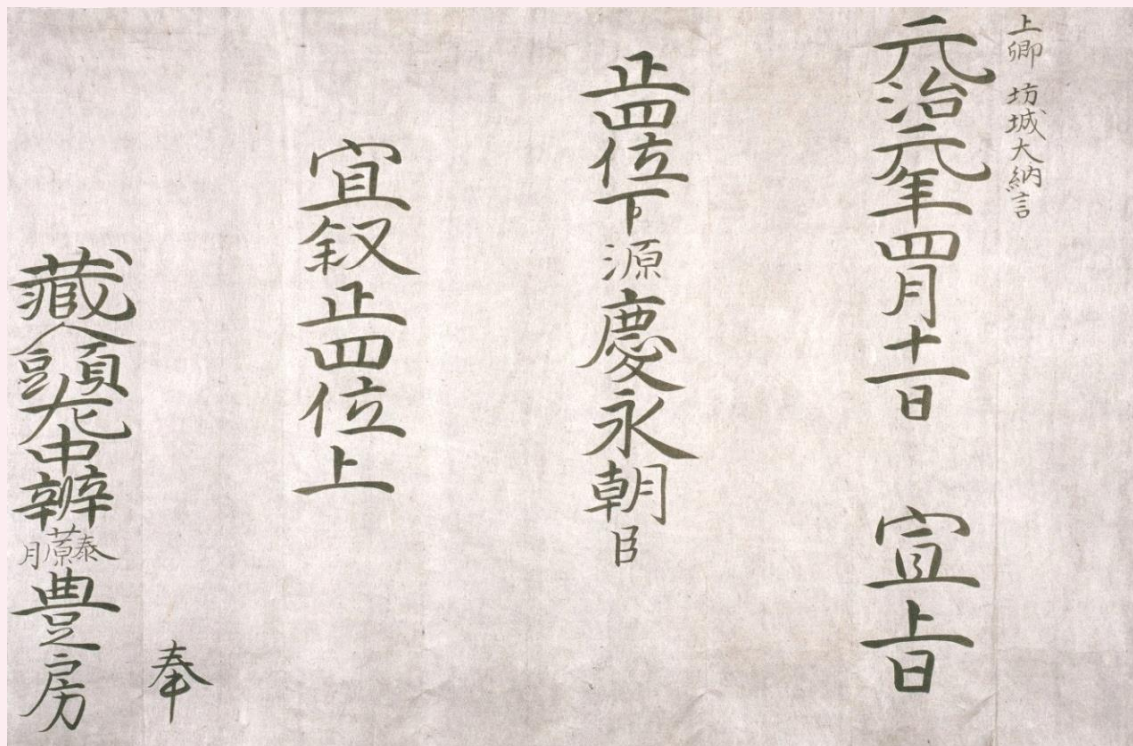
「天賜 御下緒」福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)

別紙之通被仰出

一五時之御供揃二而為御暇御参
 内被遊候処被拜
 龍顔天盃御頂戴其外御拝領物有之
 其^レ上別紙之通野々宮中納言殿を以
 被仰出誠二以御威光之御儀重疊恐悦至極奉存候
 (野々宮中納言殿 公家野宮定攻力)

一 五時之御供揃二而為御暇御参
 内被遊候処被拜
 龍顔天盃御頂戴其外御拝領物有之
 其^レ上別紙之通野々宮中納言殿を以
 被仰出誠二以御威光之御儀重疊恐悦至極奉存候
 (野々宮中納言殿 公家野宮定攻力)

元治元年（1864）4月11日／於京都／孝明天皇↓前福井藩主松平春嶽
 「御側向頭取御用日記（8）」松平文庫（福井県立図書館保管）



「叙正四位上」の宣旨 元治元年四月十一日付 松平春嶽宛
 福井市春嶽公記念文庫（福井市立郷土歴史博物館蔵）

中将様へ 脇坂中務太輔殿へ 御内達御直書

中将様へ

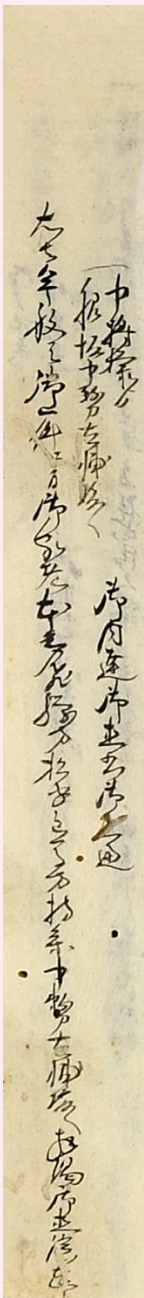
御内達御直書御壺通

脇坂中務太輔殿へ

右者今般之御一件二付御家老本多飛驒方へ

松平主馬方持参中務太輔殿へ拝謁御直」

〔中将様へ前福井藩主松平春嶽。脇坂中務太輔殿へ龍野藩主・幕府老中脇坂安宅。今般之御一件へ春嶽を政治総裁職に任命する件。本多飛驒方へ福井藩家老本多飛驒。松平主馬方へ福井藩家老松平方へ〕



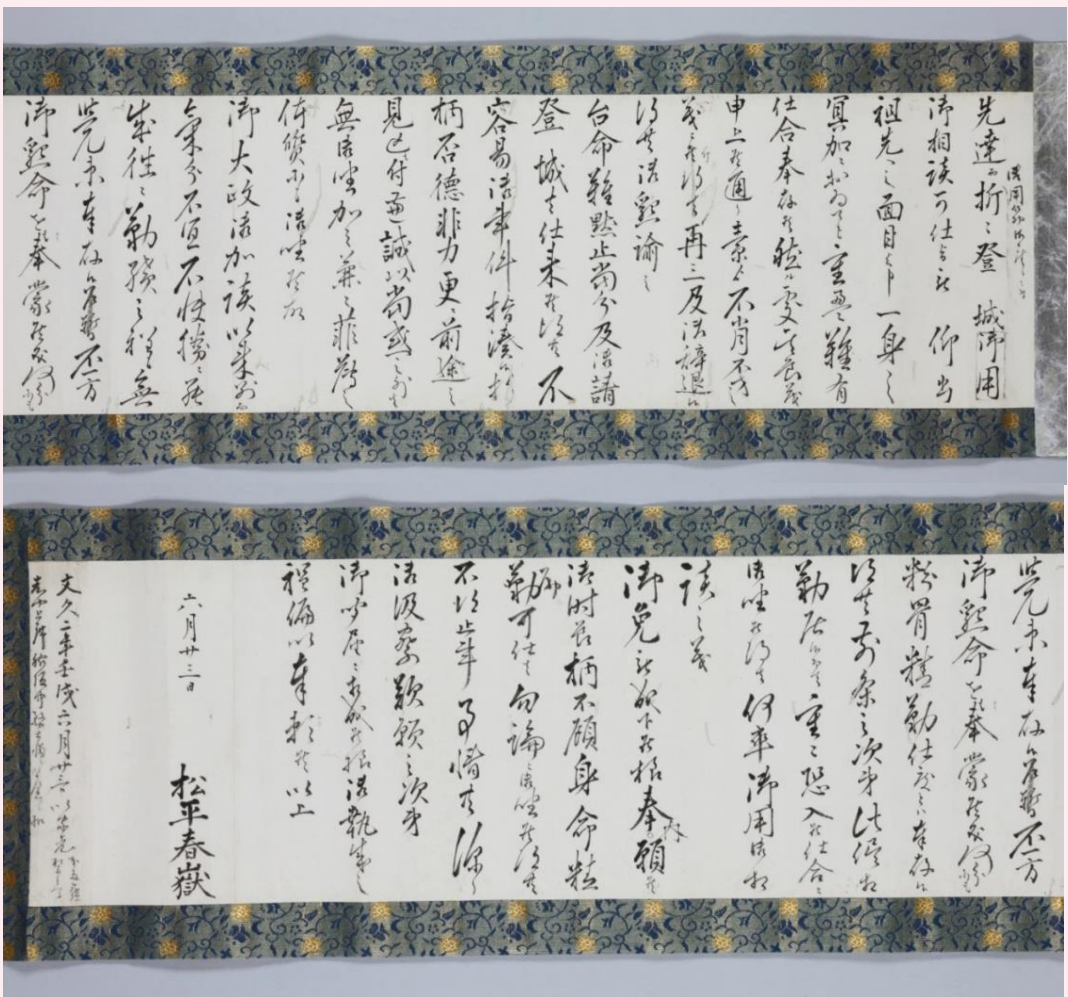
文久2年

(1862)

6月23日

於江戸／前福井藩主松平春嶽・龍野藩主・幕府老中脇坂安宅

「御側向頭取御用日記(4)」松平文庫(福井県立図書館保管)



「松平春嶽書状 大政御加談辞退書草稿
文久二年六月二十三日付」
福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)

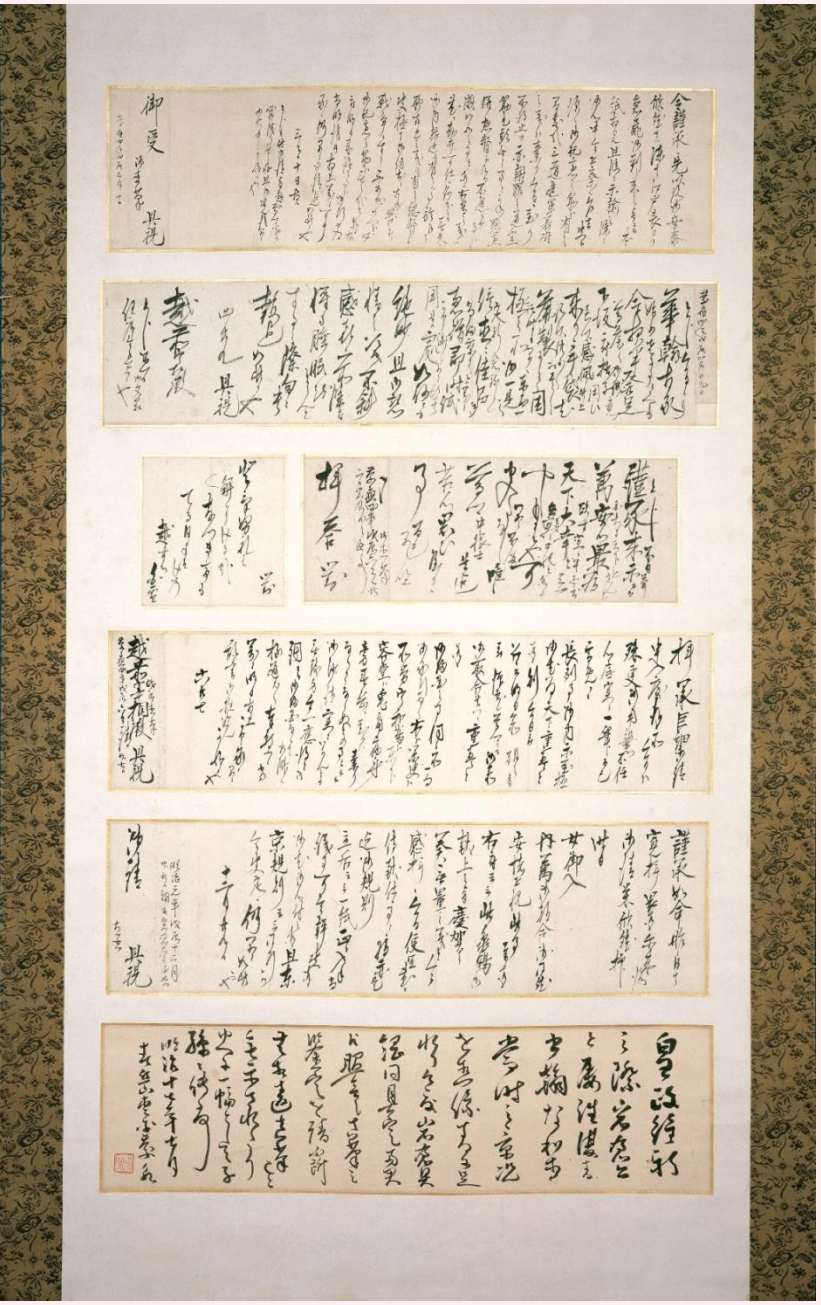
岩倉右兵衛督殿 御直書

岩倉右兵衛督殿へ 御直書被進之御返書有之
(岩倉右兵衛督殿へ副總裁岩倉具視)

出金右兵衛督殿

所直書もさる、由迄さる

慶応4年(1868) 3月10日/於京都/副總裁岩倉具視↓松平春嶽
「御側向頭取御用日記(16)」松平文庫(福井県立図書館保管)



「岩倉具視書状の幅 松平春嶽宛」
福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)
※「岩倉右兵衛督殿 御直書」は最上段

近衛前殿下

御直書

一今晚立道中六日振之趣二而京都へ飛脚

被指立候二付金兵衛小右衛門へ御用状差出ス

殿様江 雁一翼 御直書一

(金兵衛〓福井藩御側向頭取萩原金平。小右衛門〓福井藩御側向頭取井上徹。殿様〓福井藩主松平茂昭)

一今晚立道中六日振之趣二而京都へ飛脚
被指立候二付金兵衛小右衛門へ御用状差出ス
殿様江 雁一翼 御直書一

(略)

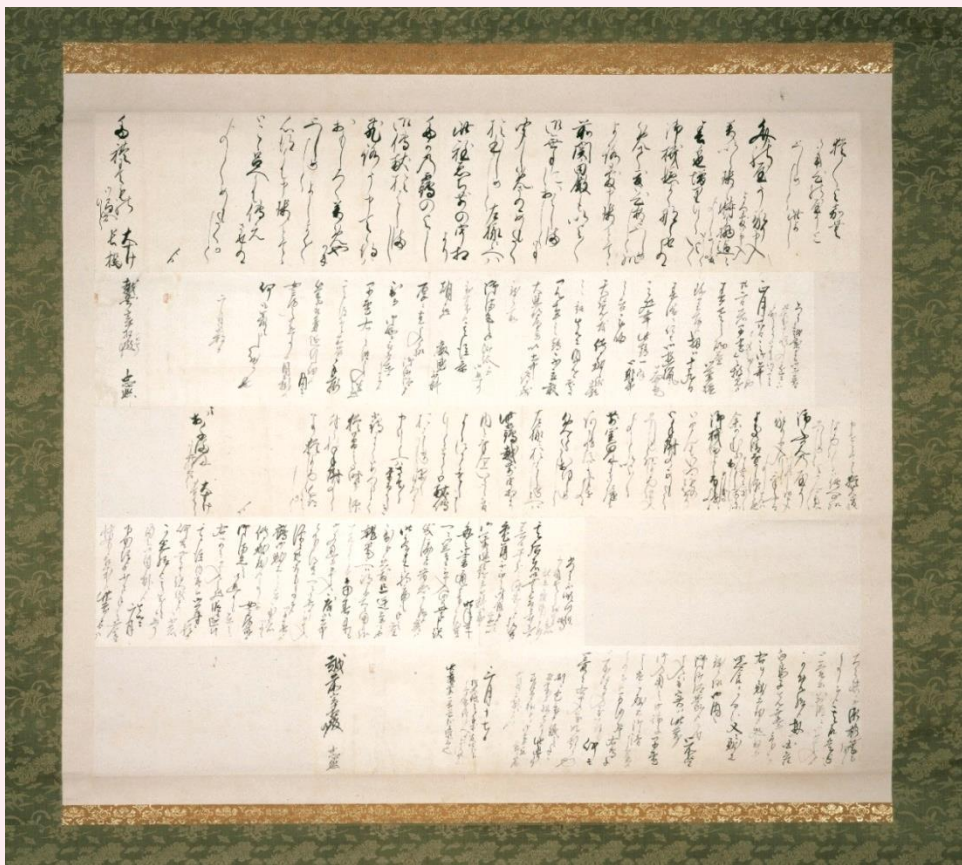
近衛前殿下

(近衛前殿下〓元関白近衛忠熙)

近衛前殿下

慶応元年(1865)2月1日/於福井/前福井藩主松平春嶽↓元関白近衛忠熙

「御側向頭取御用日記(10)」松平文庫(福井県立図書館保管)



「近衛忠熙夫妻書状の幅 松平春嶽宛ほか」
福井市春嶽公記念文庫(福井市立郷土歴史博物館蔵)
※「近衛前殿下 御直書」は上から二つ目